

第3節 交流と連携により快適な暮らしができるまち

1. 交流促進に向けた交通基盤の整備

新市の各地域が連携し、総合力を発揮していくために、ＪＲ山陰本線、国道9号、国道162号、国道477号、主要地方道などによる新市連携創造軸を形成するとともに、北部と南部をこれまで以上に強く結びつけるための交通体系やバイパストンネルの整備に加えて、バス交通網の充実を図ります。

また、市外の地域との都市機能の補完に向けて、ＪＲ山陰本線や京都縦貫自動車道などを中心に広域連携軸を形成します。

2. 交流を加速する情報通信基盤の整備

市民相互、また、市外の人々との交流を加速するために、情報通信基盤の整備や市民のだれもが自由に情報を活用するための環境づくりなどを行います。

具体的には、ケーブルテレビ網や光ファイバー網を活用しながら、地域イントラネットを新市全域に整備・連結するとともに、小学校や中学校における情報通信基盤の整備、各公共施設や家庭への連結を進めます。

また、子どもからお年寄りまでのだれもが自由に情報を活用できるようにするため、ＩＴ技能研修などを開催します。

さらに、定住促進や交流人口の増加に向けて、新市の魅力をアピールできるような情報を整備し積極的に発信するとともに、新市の魅力や交流情報に関する電子掲示板などホームページ等を活用した市外の人々との交流の場についても検討します。

3. 地域の核となる市街地の形成

自然環境との調和を図りつつ、交流と連携による快適な生活を実現し、また、若者定住や交流人口の増加を促進するため、地域の核となる市街地の形成を図ります。

具体的には、中心市街地の活性化策や駅周辺の整備、商業機能の強化などを進めることにより、都市拠点と都市生活拠点における情報、行政、福祉、文化などの都市機能を充実するとともに、各拠点間の連携、観光・レクリエーションゾーンとの連携を図ります。

4. 若者定住に向けた住環境の整備

若者にとって住みやすい環境づくりや各種の情報発信、対応体制の整備を推進することにより、若者定住を促進します。

具体的には、市内外の若者のニーズをふまえ、住宅取得に対する各種支援策の充実を図るとともに、公営住宅の建て替えを進めます。

さらに、情報通信基盤を活用して定住を促進するための新市の情報発信を積極的に行うとともに、定住に関する問い合わせや相談に関するワンストップの体制づくりを進めます。

5. 生活環境基盤の整備

市民の快適な暮らしを支えるためには、生活環境基盤を整備していくことが求められます。

このため、計画的に公園を整備していくとともに、簡易水道や公共下水道、合併処理浄化槽等の整備を進めるほか、取水、浄水および配水等の効率的な処理に向けて浄水場の改修を行います。

【主な施策・事業】

主要施策	主な事業
交流促進に向けた交通基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方道・市道の整備 ・ 都市計画街路の整備 ・ 交通安全施設・歩道の整備 ・ 橋梁の整備 ・ バス交通の充実（スクールバスの混乗、バスターミナルの整備等） ・ J R 山陰本線の複線化促進や利便性向上
交流を加速する情報通信基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光ファイバー網、ケーブルテレビ網、地域イントラネット、情報通信拠点などによる新市情報通信ネットワークの形成 ・ 小学校・中学校における情報通信基盤の整備 ・ 新市文化など独自のコンテンツの開発・発信 ・ I T 技能講習などデジタルデバイドの解消 ・ 電子掲示板の検討
地域の核となる市街地の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の活性化（再掲） ・ 駅舎・駅前の整備
若者定住に向けた住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の住宅取得への支援 ・ 公営住宅の建て替え ・ 定住促進に向けた情報発信 ・ 定住に関する相談・対応の体制づくり
生活環境基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市公園等の整備 ・ 公共下水道・合併処理浄化槽の整備 ・ 農業集落排水事業 ・ 土地区画整理事業 ・ 上水道・簡易水道の整備 ・ 浄水場の改修